

平成 29 年度
事業報告書

自：平成 29 年 4 月 1 日

至：平成 30 年 3 月 31 日

社会福祉法人若狭町社会福祉協議会

法人本部運営事業

組織体制の強化

・理事会の開催

- | | | |
|--------|-------|---------------------------|
| 5月26日 | 第1号議案 | 平成28年度事業報告および決算について（監査報告） |
| | 第2号議案 | 定款細則について |
| | 第3号議案 | 諸規程の変更について |
| | 第4号議案 | 次期役員について |
| | 第5号議案 | 定時評議員会の招集について |
| 6月16日 | 第1号議案 | 会長、副会長、常務理事の選任について |
| 9月20日 | 第1号議案 | 五湖の郷指定管理更新について |
| | 第2号議案 | 赤い羽根共同募金について |
| | 第3号議案 | 経理規程の変更について |
| | 第4号議案 | 定年退職者嘱託再雇用規程の変更について |
| | 第5号議案 | 就業規則の変更について |
| 12月20日 | 第1号議案 | 上期中間監査報告と今後の事業運営について |
| | 第2号議案 | 平成29年度第1次補正予算（案）について |
| | 第3号議案 | 評議員会の招集について |
| | 第4号議案 | 育児、介護休業及び短時間勤務規程の変更について |
| 3月20日 | 第1号議案 | 平成29年度第2次補正予算（案）について |
| | 第2号議案 | 平成30年度事業計画（案）並びに予算（案）について |
| | 第3号議案 | 役員と評議員の交流について |
| | 第4号議案 | 定款の変更について |
| | 第5号議案 | 非正規職員就業規則の変更について |
| | 第6号議案 | 評議員会の招集について |

・評議員会の開催

- | | | |
|--------|-------|---------------------------|
| 6月13日 | 第1号議案 | 平成28年度事業報告および決算について（監査報告） |
| | 第2号議案 | 役員の選任について |
| | 第3号議案 | 諸規程の変更について |
| 12月27日 | 第1号議案 | 上期中間監査報告と今後の事業運営について |
| | 第2号議案 | 平成29年度第1次補正予算（案）について |
| 3月27日 | 第1号議案 | 平成29年度第2次補正予算（案）について |
| | 第2号議案 | 平成30年度事業計画（案）並びに予算（案）について |

第 3 号議案 役員と評議員の交流について

第 4 号議案 定款の変更について

・ 監事会の開催

5 月 18 日 平成 28 年度決算監査

11 月 20 日 平成 29 年度上半期決算監査

・ 三役会の開催

計 14 回開催し、決算の作成、理事会、評議員会の招集および議案の提出、表彰、運営規程の変更、人事に関するることについて協議しました。

・ 所長会の開催

計 14 回開催し、三役会、理事会、評議員会提出案件、事業所間および社協全体における課題と対策に関するることについて協議しました。

・ 事業所会議（安全衛生委員会）の開催

計 13 回開催し、事業所内における課題と対策に関するることについて協議しました。

改正社会福祉法への対応

- ・ 経営組織のガバナンス(統治)の強化として、評議員会が法人の議決機関に位置づけられたことを受け、本会が取り組む事業に関連性の深い分野から選出された評議員で構成する評議員会を組織しました。
- ・ 事業計画および予算、事業報告及び決算、現況報告書等をホームページにて公表しています。また、同資料は各事業所においても閲覧可能です。
- ・ 平成 29 年度決算における社会福祉充実残額は発生しませんでした。

人材確保について

- ・ 本年度より、新卒採用職員育成研修を導入し OJT での人材育成を行っています。また新卒採用の募集方法の見直しに向けて、調査を行いました。
- ・ 採用試験に適性検査を導入し、公正な就業機会を提供すると共に採用後の人材育成に活用しています。
- ・ 前年度から引き続き、人事評価制度の再構築に向けての取り組みを行っています。
- ・ 人材育成のために、介護福祉士資格の取得助成制度を導入しました。
- ・ メンタルヘルス担当職員の資質向上のため、県社協主催の研修に参加します。

安定した財源確保について

- ・ 既存事業の現状分析の精度を高めるため、事業計画書および事業報告書の様式見直しを行いました。
- ・ 五湖の郷の指定管理更新に伴い、長期修繕計画を策定しました。また、中長期的な施設の維持管理を目的とした設備整備積立について検討しました。
- ・ 社協会費、積立金実績（H30.3.31 現在）

会費	一般会費	3,714 世帯加入	3,650,718 円
	特別会費	203 件加入	1,295,000 円

積立金	福祉基金積立	17 件	2,160,000 円
	設備整備積立	26 件	4,342,518 円
	修繕積立	3 件	685,000 円

地域福祉事業

地域づくり協議会と連携を図りながら、住民主体の地域福祉活動が推進できるよう支援を行います。

- ・ 以前から関わりのある地域や地域づくり協議会への参画はできていますが、活動が把握できていない集落や地域づくり協議会への参画はできていません。
- ・ 次年度以降も地域づくり協議会と密に連携を図っていきます。

< 小地域福祉活動推進事業 >

住民主体の集落づくりを推進します。

- ・ モデル集落および地域づくり協議会とは継続した支援ができていない地域と不十分な地域があり、不十分な地域へ関わり方を模索しています。
- ・ 懇談会で出たニーズから、新しい取り組みが生まれそうな集落もあり、引き続き支援をします。

(1) 小地域福祉活動推進モデル集落の設置 (共同募金審査委員会にて決定)

平成 27 年度～平成 29 年度：佐古区、新道区

平成 28 年度～平成 30 年度：田井野区、北前川区、三方区

平成 29 年度～平成 31 年度：末野区

(2) 小地域福祉活動連絡会の開催

モデル集落を中心とした小地域福祉活動に取り組む集落を対象に情報交換や課題の共有を行いました。

開催日：6 月 5 日 会場：パレア若狭会議室 参加者：8 集落 9 名

(3) 地域サロン支援事業

サロンへの職員派遣を行いました。

3 件 (白屋区、有田区、朝霧区)

< 福祉委員活動推進事業 >

福祉委員の資質向上に取り組みます。

- ・ 福祉委員の改選に合わせ、委嘱を兼ねた研修を実施し活発な意見交換ができました。気がかりな人の連絡や共同募金運動への協力などに意欲的な委員は役割を明確にして活動をされています。一方で十分な活動に結びついていない委員については、役割や活動への意識付けを根気強く伝えていく必要があります。

(1) 福祉委員のつどい

参加者については、例年にも増して多数となり、地域を分けて開催したことが増加した要因と考えられます。

三方地域開催日 5月11日 リブラ若狭研修室 44名参加

上中地域開催日 5月17日 パレア若狭研修室 44名参加

(2) 地域づくり協議会への参画や福祉懇談会へ参加しました。

みそみ地区 6月14日 みそみ地域づくり協議会福祉部会

8月7日 みそみ地域づくり協議会福祉部会

9月4日 みそみ地域づくり協議会福祉部会

10月16日 みそみ地域づくり協議会福祉部会

11月16日 みそみ地域づくり協議会福祉部会

12月14日 みそみ地域づくり協議会福祉部会

1月16日 みそみ地域づくり協議会福祉部会

2月20日 みそみ地域づくり協議会福祉部会

3月10日 みそみ地域づくり協議会交流会

明倫地区 6月22日 明倫福祉支え合い会

8月24日 明倫福祉支え合い会

気山地区 4月18日 気山上瀬地域づくり協議会

2月18日 気山上瀬地域づくり協議会

鳥羽地区 6月28日 鳥羽地区福祉懇談会

7月23日 きば～ろ喫茶視察(朝霧区)

野木地区 5月16日 地域福祉部会

5月24日 野木地区福祉懇談会

6月14日 地域福祉部会(フラワー交流)

6月21日 ママcafé視察

7月21日 野木地区福祉懇談会

< ボランティアセンター運営事業 >

住民にボランティアセンターと災害ボランティアセンターの周知を行います。

- ・ 住民がボランティア活動に参画できる状況を作るために情報の提供を進めてきました。しかし、コーディネート機能強化の取り組みについては十分ではありませんでした。
- ・ 児童生徒に対しては、ボランティア出前講座を実施し意識啓発ができています。取り組みのひとつとして、手話ができる地域住民が学校で講師を務めました。
- ・ 災害ボランティアセンター連絡会では、運営の手引きを作成しそれに沿ったシミュレーション訓練を行うなど、少しずつですが災害時の対応についてイ

メージができてきたと思います。また、住民の中からは有事の際ボランティア活動に協力させてほしいという声が聞かれました。

(1) ボランティア登録、更新、斡旋業務の充実

個人ボランティア登録者数	59 名
ボランティア団体登録数	2 団体
ボランティア活動保険加入者数	1,055 名

(2) 福祉教育の推進

福祉教育への対応、支援	2 件 (点字版貸出し)
-------------	----------------

(3) ボランティア出前講座の開催

6 月 13 日	講義 (福祉とは)	鳥羽小学校
6 月 15 日	高齢者疑似体験、アイマスク体験	野木小学校
6 月 28 日	講義 (障がいとは)	鳥羽小学校
7 月 4 日	講演 (外部講師派遣)	鳥羽小学校
9 月 8 日	講義 (福祉とは)	瓜生小学校
9 月 12 日	車いす体験	鳥羽小学校
9 月 20 日	車いす体験	鳥羽小学校
10 月 11 日	講義 (福祉と障がい)、アイマスク体験	三方小学校
10 月 16 日	車いす体験	瓜生小学校
10 月 18 日	車いす体験、高齢者疑似体験	三方小学校
10 月 18 日	点字体験 (外部講師派遣)	鳥羽小学校
11 月 15 日	アイマスク体験	瓜生小学校
11 月 16 日	手話体験 (外部講師派遣)	鳥羽小学校
11 月 17 日	車いす体験	梅の里小学校
11 月 24 日	高齢者疑似体験	梅の里小学校
12 月 6 日	高齢者疑似体験	熊川小学校
12 月 20 日	高齢者疑似体験	瓜生小学校
1 月 10 日	点字体験 (外部講師派遣)	瓜生小学校
1 月 25 日	手話体験 (外部講師派遣)	瓜生小学校
1 月 30 日	車いす体験、高齢者疑似体験	野木小学校

(4) ボランティアグループ視察交流の受け入れ、新たな発掘、組織化への支援

みそみ買い物メイト	福祉部会への参加	4 回
気山区さわやか会	会議への参加	4 回
朝霧区	喫茶きば～ろ (向笠区) へ視察同行	1 回

(5) 家屋補修支援事業

三方地域 8月20日 希望者8件 実施5件 ボランティア7名
上中地域 12月3日 希望者22件 実施21件 ボランティア20名
3月30日 上中地域雪囲い撤去

(6) ボランティア活動への支援

図書館ボランティア『虹の会』 おげんきですか発行(590部)支援 6回

(7) 地域で支える送迎サービス

利用登録者162名 貸出件数261件 利用延べ人数1,271名

(8) 災害ボランティア

若狭町災害ボランティアセンター連絡会協議会

6月19日 災害ボランティアセンターシュミレーション訓練 15名参加
災害ボランティア研修(嶺南ブロック)

7月15日 講義、演習(避難所運営シミュレーション) 4名参加
気山上瀬地域防災研修会

2月18日 外部講師による講演、広報啓発

災害ボランティアセンターだより発行 1回
必要備品、資機材整備

<送迎支援サービス事業>

住民が使いやすい送迎方法を検討します。

- ・住民のニーズについては十分に把握ができていないため、アンケートや聞き取りを実施し、使いやすい移動手段について行政と協議します。
- ・福祉有償運送運営協議会が9月に開催され、委員から福祉有償運送の制度を知らないことや料金を引き下げてほしいとの意見があったため、町と連携を取り、利用しやすいサービスの検討を行います。

(1) 外出支援サービス事業(上中地域356名、三方地域370名)

(2) 個人用福祉車両貸出し事業(33件)

(単位:延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
外出支援	1,170	90	98	106	103	117	116	630
		82	68	63	49	59	59	380
個人用貸出	32	1	2	3	3	5	3	17
		1	2	2	4	4	4	17

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
外出支援	102	104	84	68	90	76	524	1,154
	56	69	58	51	49	63	346	726
個人用貸出	5	4	2	3	2	4	20	37
	4	5	2	3	1	1	16	33

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 福祉総合相談事業 >

普段からさまざまな相談に対応します。

- ・ 心配ごと相談の来訪者は少ないですが、無料法律相談は需要が多いです。重要な相談ごとがあった際には、関係機関に繋ぐなど早急な対応をしています。
- ・ ケアマネジャーや障がい者相談支援センターとの連携については、必要に応じて共通利用者の情報提供や相談を事務所内で行っています。

(1) 心配ごと相談

毎月第 2 火曜日 12 回開催 相談件数 14 件 (三方地域 6 件、上中地域 8 件)

(2) 無料法律相談

毎月第 2 火曜日 12 回開催 相談件数 48 件 (三方地域 21 件、上中地域 27 件)

< 生活困難者支援事業 >

サービス利用者に合わせた適切な支援を行います。

- ・ 関係者の方々 (地域住民や民生児童委員、関係機関等) と密に連携を取りながら、利用者の自立に向けて適切なサービス提供を行っています。事例検討会までは開くことはできていませんが、普段から連携をとり気がかりな方の情報交換や相談等を行っています。

(1) 日常生活自立支援事業

(新規契約 1 件、契約終了 3 件、現在利用中 13 件)

普及啓発としてわかさ社協だより vol.58 に事業紹介を掲載しました。

(2) 金銭等管理事業

(新規契約 0 件、契約終了 0 件、現在利用中 1 件)

(3) ふくしの資金貸付事業

生活福祉資金貸付

(新規契約0件、契約終了0件、現在利用中15件)

5月22日 敦賀駅前合同庁舎 二州地域生活福祉・就労支援協議会
5月30日 小浜公共職業安定所 若狭地域生活保護受給者等促進事業協議会
8月24日 県社協 生活福祉資金貸付事業関係職員研修会
1月16日 敦賀市プラザ萬象 高齢者相談機関連絡会
3月6日 県社協 地域で支えるセーフティネットづくり勉強会
たすけあい金庫貸付4件

緊急食糧支援事業6件

< 広報活動 >

住民に見やすく分かりやすい広報活動を行います。

- ・社協だよりはフルカラーにし、住民からも見やすくなったと好評の声も聞かれています。広報委員には、広報作成に関するマニュアル本を配布し個々のスキルアップを目指しています。
- ・ホームページはきやま虹の家や三方駅、きらやま茶屋のページを増設しました。また、多くの人の目に留まるようにスマホ対応ページも試験的に作成しました。他にも、ブログの更新頻度を増やし、社協内や地域の様子、災害情報等、旬な情報を発信しています。ただ、更新できていないコンテンツ(地域の紹介コーナー、ボランティア情報等)も多いのが課題です。

(1) 社協だよりの発行

4、6、8、10、12、2月発行

< 共同募金助成金事業 >

- ・昨年度決定した助成団体について、活動助成を行いました。積極的な助成を進めるには募金額を増やすことが必要になってきますので、助成金事業の目的を広く周知し、募金を呼びかけます。

(1) 一般募金助成金事業

小地域福祉活動の基盤づくり(モデル集落6集落指定)

きらりアート展の開催

10月7日~23日(月) 応募147点

赤い羽根共同募金チャリティ『アートでハート展』の開催

11月11日(土)~27日(月) 出展作家39名

広報啓発活動

社協だよりやパンフレット等の広報活動の一部に活用しました。

要援護者支援調査

若狭町内の要援護者についての調査や支援の費用として活用しました。

緊急食糧支援事業

生活困窮者へ食糧を配分する一部に活用しました。

(2) 歳末たすけあい募金助成金事業

障がい児クリスマス会の開催

障がいを持った子どもたちとその家族を対象に実施しました。

歳末たすけあい配食事業

生活保護受給者に社協内で調理したおせち料理をお届けしました。

介護用品無料貸出事業

在宅の高齢者、障がい者、病気療養者等へ無料で貸出しするベッドと車いすの購入費の一部に活用しました。

カレンダー作成

きらりアート展入賞者の作品を掲載したカレンダーを作成しました。

< 介護予防・生活支援 >

- ・ ベッドの需要は多く、時期によっては在庫が無い時もあります。
- ・ 車いすは長期間の貸出しよりも一時的な貸出しが多いです。

(1) 介護用品無料貸出事業

ベッド	貸出し中	26台	(残 6台)
車いす	貸出し中	36台	(残 11台)
その他	貸出し中	16台	(残 4台)

通所介護事業

他職種と連携し地域包括ケアシステムの一端を担い、様々なニーズに対応したサービス提供を実施します。

- ・緩和型 A 型サービスが開始になり、利用時間について利用者からデイサービスを 1 日利用したいとのニーズが多くありました。パレア若狭、いずみは 1 か月 1 回限定で 1 日利用を選択できる内容にすることで利用者の満足度を高めることができました。
- ・五湖の郷は、6 月以降利用がなかったため、引き続き高齢者の閉じこもり予防に努め緩和型 A 型の受け入れを推進していましたが、実績はありませんでした。

< デイサービスセンターパレア若狭 >

認知症対応の強化

- ・ 2 名認知症実践者研修を受講しスタッフ全員に対して伝達講習ができました。加算取得の要件が整い 1 月から認知症加算の算定を始めました。
- ・ 認知症利用者を積極的に受け入れし、レクリエーションの参加など生活活動を通して、共に同じ環境で過ごしています。

在宅生活が継続できるよう個々にあわせて機能維持をします。

- ・ 心身の活性化を目的として年間を通じてリハビリ体操を毎日実施しています。また、季節を感じる行事を設定してレクリエーションや創作活動を行いました。
- ・ 皆が協力して作品を作り上げる達成感を味わえ、目的をもってデイサービスに通っていただけました。

利用実績（定員：18 名 営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
通所介護	3,856	449	460	476	492	491	466	2,834
		295	339	337	329	327	330	1,957

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
通所介護	456	449	452	380	371	391	2,499	5,333
	371	336	300	287	283	320	1,897	3,854

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

利用実績（定員：7 名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型 A 型	1,476	- 73	- 69	- 69	- 77	- 96	- 95	- 479

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型 A 型	- 91	- 91	- 83	- 98	- 97	- 102	- 562	- 1,041

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< デイサービスセンターいずみ >

利用者希望に合わせた送迎時間の実施

- ・ 迎え時間に関するアンケートを取り、利用者またはご家族の希望に沿った時間帯で送迎を組み換え実施することが出来ました。

機能維持の充実

- ・ 訪問看護の理学療法士や作業療法士と連携し、月曜日と水曜日の午後 2 時間程度で希望される利用者の状態に合わせてメニューを組み個別にリハビリを実施しました。
- ・ 午前中と午後からの 1 日 2 回リハビリ体操に取り組み、機能維持または介護予防に繋がる取り組みが出来ました。

利用実績（定員：18 名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,518	363 293	329 294	364 295	374 289	402 286	392 294	2,224 1,751

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	363 299	376 282	336 294	334 239	299 225	365 226	2,073 1,565	4,297 3,316

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

利用実績（定員：7 名、営業日：火曜日・金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型 A 型	560	- 43	- 44	- 46	- 45	- 48	- 54	- 280

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型 A 型	- 48	- 48	- 49	- 47	- 43	- 51	- 286	- 566

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< デイサービスセンター五湖の郷 >

ボランティアを積極的に受け入れ、地域に根差した運営を目指します。

- ・ 昨年度は、着脱ボランティアの方が2名居られたのですが、家庭の都合等により活動が難しくなりました。現在は4名の方に運転ボランティアとして活動して頂いています。社協広報等を活用し、様々なボランティアの普及活動に努めました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,660	284 255	296 282	314 277	320 291	286 299	278 287	1,778 1,691

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	290 266	297 274	298 265	254 238	236 253	273 302	1,648 1,598	3,426 3,289

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

利用実績（定員：5名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型 A 型	144	- 8	- 9	- 0	- 0	- 0	- 0	- 17

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型 A 型	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 17

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

居宅介護支援事業所パレオ若狭

主任ケアマネジャーの配置

- ・主任ケアマネジャー更新研修受講の為の研修受講を年間を通して参加する事が出来、平成 31 年度受講に向けての調整を行っています。
- ・6月、7月に法定研修等における1名の実習受け入れを行い県へも報告が完了しています。平成 29 年度から平成 30 年度実習対象者に関する受講受け入れも県へ通知しており、実習受け入れを今後も行います。

ケアマネジャーの資質向上

- ・多職種連携の研修や専門員研修にも参加が出来、各々のケアマネジャーに必要な研修に参加が来ています。
- ・毎週1回、事例検討、報告、事業内容確認等での定期会議を開催しています。年間を通して定期的に事例検討や制度等の情報共有が出来、利用者への支援に生かす事が出来ています。

地域福祉事業、小規模多機能ホーム、障がい者相談支援センターとの連携強化

- ・相談支援センターの担当者が居宅の毎週1回の定期会議に参加し事例検討を合同で行っています。互いに必要な制度や事業所情報等を交換する事で利用者へ有効な支援へと繋ぐ役割となっています。
- ・地域福祉事業との連携としては共通する利用者の情報提供や相談を事務所内で必要時行っています。

利用実績（1か月あたり平均要介護利用者 130 名）

- ・上半期平均 132 件、下半期平均 127 件
- ・6月より介護予防、総合支援事業の受け入れを開始

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
居宅介護支援	1,540	123	121	128	125	122	127	746
		136	137	131	135	130	128	797

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
居宅介護支援	120	124	124	126	126	131	751	1,497
	134	131	130	125	119	126	765	1,562

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

相談支援センターわかさ

福祉、医療、行政等関係機関との連携を密に行います。

- ・生活介護事業所や就労事業所とは連絡を密にとれていますが、医療が必要な方の居宅介護事業所や病院側との連絡や相談は今後も課題です。
- ・ケアマネジャーと一緒に多職種連携研修会等に参加しました。

総合相談窓口としての機能充実を目指します。

- ・児童の新規利用者に対して、学校の先生と連携をとり細かいアセスメントや丁寧な支援計画を作成し、家族や事業所にモニタリングを行なっています。
- ・定期的にケアマネジャーの事例検討会等で相談したり、必要時には地域福祉事業との情報共有や相談を行っています。

利用実績

< 特定相談支援事業 > 計画 36 件、モニタリング 120 件

実績 123 件のうち、計画 27 件、モニタリング 96 件

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
特定相談支援	156	9	7	14	5	7	15	57
		15	7	10	7	7	14	60

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
特定相談支援	12	7	9	6	6	8	48	105
	9	6	8	11	14	16	64	124

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 障害児相談支援事業 > 計画 5 件、モニタリング 7 件

実績 31 件のうち、計画 10 件、モニタリング 21 件

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
障害児相談支援	12	1	0	0	1	0	0	2
		3	1	1	5	6	8	24

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
障害児相談支援	2	0	0	0	0	0	2	4
	1	0	2	1	2	1	7	31

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

生活支援ハウス

高齢者が安心して健康で明るい生活を送ることができるよう支援していくことを目指します。

- ・冬期間に向けての急な利用や、退院後の急な利用希望において、柔軟に対応しました。
- ・入居者には、それぞれの心身状況に応じて個別に対応して声かけや介助、支援を実施し、また、体調変化や心身の変化を家族や関係サービス事業所と連絡をとり、在宅生活に戻れるよう支援しました。しかしそれぞれの家庭事情から在宅に戻れず施設入所となる方がいました。
- ・季節に合わせた生け花作りやお菓子作りを実施し、他の入居者との交流や、心身機能の維持向上を図りました。

生活支援ハウスの適切な運営が図れるよう努めます。

- ・入居希望者や家族と利用について十分な説明と話し合いをして、利用希望者の要望に対応しました。
- ・居宅介護支援事業所と常に連絡を取り合い、入居の対応や居室の有効活用に努めました。

利用実績（居室利用定員：12名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生活支援ハウス	2,422	151	97	147	191	155	138	879
		115	86	104	124	111	161	701

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生活支援ハウス	136	91	287	332	297	227	1,370	2,249
	83	94	238	323	333	332	1,403	2,104

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

リラクゼーション

地域住民の健康増進と交流を促進することを目指します。

- ・パレアの湯は二股炭酸カルシウム人工温泉であることや、施設内では理美容、マッサージが利用できることをホームページやチラシで周知してきました。
- ・パレアの湯利用者のリピーターには、回数券を活用してもらうよう購入を呼びかけました。休憩室などのスペース活用については、入浴利用者の休憩場所でのみの活用になりました。
- ・積雪による災害では、町民の方の困ったときの入浴場所となりましたが、設備の老朽化が目立ってきました。
- ・平成 30 年 3 月 31 日をもって、パレアの湯は閉店になりました。

利用実績（パレアの湯 22 名/日、マッサージ 1 名/日、美容 10 名/日）

（営業日：月曜日、水～日曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
パレアの湯	7,116	765	721	767	808	762	593	4,416
		534	680	689	673	713	587	3,876
マッサージ	60	0	0	1	0	0	0	1
		14	13	13	8	0	8	56
理美容	2,400	192	171	209	227	177	205	1,181
		204	168	210	188	198	176	1,144

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
パレアの湯	672	480	588	534	481	555	3,310	7,726
	523	553	512	510	588	753	3,439	7,315
マッサージ	0	0	1	8	3	13	25	26
	8	9	9	4	7	8	45	101
理美容	179	159	194	131	193	187	1,043	2,224
	138	163	176	134	156	193	960	2,104

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

ホームヘルプサービスいずみ

中重度対応、障がいヘルプ対応の強化

- ・ 利用者の平均介護度は要介護2ですが、退院直後やターミナルの利用者など介護度の高い方の受入も積極的に行うことができました。
- ・ 認定特定行為業務従事者研修を修了し資格を得たことで、介護職員によるたんの吸引と経管栄養に対応できる従事者は3名となりましたが、人員が足りず定期的な対応は難しいのが現状です。
- ・ 障がいに関する研修については、発達障害に対する理解と支援に関する研修に積極的に参加することができました。

他事業所との連携強化

- ・ 緩和型A型の利用や相談が増加しています。
- ・ 緩和型A型の利用は生活援助を中心とされていますが、独居や高齢者世帯の方が多くということで、特に状態の観察や支援が必要なこともあり、福祉課やケアマネジャーへの報告、連絡、相談を密に行いました。それに伴い要介護に変更されるケースもありました。
- ・ 他事業所への素早い情報提供と共有を行い連携強化することを目的に、ミーティングを増やしました。日常的なモニタリングを行うことで、利用者のニーズが新たに発生していないかなど、職員間で共有できる場を多く設けるように調整しました。
- ・ 担当者会議や内部研修への取り組みの他、外部研修会にも積極的に参加しました。

利用実績 (営業日：月曜日～日曜日 ただし、1月1日～3日までは除く)

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
訪問介護(介護)	8,136	500	595	622	662	682	795	3,856
		661	662	581	632	634	649	3,819
緩和型A型	624	-	-	-	-	-	-	-
		30	38	41	37	46	28	220
訪問介護 (障がい)	1,188	69	81	129	130	134	114	657
		95	112	80	88	101	105	581

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
訪問介護(介護)	721	738	762	644	603	677	4,145	8,001
	735	687	695	626	599	645	3,987	7,806
緩和型 A 型	-	-	-	-	-	-	-	-
	42	29	28	21	20	23	163	383
訪問介護 (障がい)	133	84	112	88	90	106	613	1,270
	89	71	92	72	63	90	477	1,058

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

訪問看護ステーションわかさ

各関係機関、他の事業所との連携強化

- ・ 日々の訪問の中で小さな変化を見逃さず、課題が発生した時には頻回にケース検討を行い、より良いサービスの提供に努めました。
- ・ 入退院時の受け入れや状態の不安定な時期への関わりを手厚くし、必要なサービスの導入に働きかけ、安心して在宅で安楽に過ごせるよう支援しました。
- ・ リハビリの必要性の高い利用者にはリハビリを導入し、看護の必要性の高い利用者には看護の導入を行い、悪化予防とQOLの改善に働きかけることが出来ました。
- ・ 介護技術の指導や実践を、家族と共に行いながら、家族の介護力の向上や緊急時の対応の強化を図りました。
- ・ デイサービスいずみの要介護認定利用者にはリハビリの提供を行い、機能維持、向上に繋がりました。

24時間対応の継続

- ・ 状態の変化から起こりうる急変を予測し、緊急対応の検討や情報の共有、待機の継続期間の短縮や適宜交代する等、スタッフの精神的・身体的負担の軽減に努めました。

利用実績（営業日：月曜日～金曜日 ただし祝日、年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
訪問看護(予防)	336	13	26	27	26	27	30	149
		27	26	36	41	47	39	216
訪問看護(介護)	3,912	339	314	353	306	307	316	1,935
		305	357	355	311	323	319	1,970
訪問看護(医療)	1,656	125	105	123	169	181	178	881
		165	161	180	137	150	152	945

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
訪問看護(予防)	29	26	26	28	23	27	159	308
	45	46	45	49	43	64	292	508
訪問看護(介護)	314	338	324	306	289	339	1,910	3,845
	341	323	297	288	294	343	1,886	3,856

訪問看護(医療)	162	148	141	144	154	190	939	1,820
	157	101	82	74	78	96	588	1,533

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

生きいきふれあい館

より多くの住民の方に利用していただき、介護予防拠点施設としての利用促進を図ります。

- ・ 7月に開催された運営委員会において、昨年度から実施している冬季抽選予約方法について検証しました。特に問題なく実施出来、また、予約が殺到するなかでも、全く予約が取れない団体はなかったということで、今年度も引き続きより多くの方に利用していただけるよう努めました。冬場は特にキャンセル待ちの団体が数件あり、キャンセルがあった場合には、希望日等を把握し連絡をとりますが、調整が付かず、あまり実利用にはつながりませんでした。

利用実績

(単位：延利用団体数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生きいき	880	56	58	65	66	52	69	366
ふれあい館		49	59	61	65	52	53	339

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生きいき	62	69	77	84	93	91	476	842
ふれあい館	68	74	79	84	86	84	475	814

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

葬祭事業

サービスの向上

- ・ ご遺族の方に穏やかな追想のときを過ごしていただけるよう、心をこめて業務にあたっています。
- ・ 地域に根ざした施設運営として北前川老人会による施設周辺清掃（1月2月を除く毎月第3日曜日）を受入れました。

4月16日、5月21日、6月18日、7月16日、8月20日、9月17日
10月15日、11月19日、12月3日、3月18日

利用実績

(単位：件数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
葬祭事業		14	20	19	16	17	18	104
		11	12	19	16	21	18	97

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
葬祭事業	16	17	18	16	25	16	108	212
	14	12	27	31	20	13	117	214

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

小規模多機能ホーム

3つの事業所の連携を深め、より良い運営を目指すために定期的に主任会議を実施します。また、職員の交流とスキルアップを図るため事業所間で交流研修を行います。

- ・ 事業計画では2か月に1回主任会議を実施する予定でしたが、1か月に1回実施することができ、3事業所間でより深い連携を取ることができました。
- ・ 1か月に1名ずつ3事業所間の交流研修（3日間）を計画し、ほぼ予定通り研修が実施でき、複数の事業所を見る事で小規模多機能の良さをより理解することが出来ました。

<小規模多機能型居宅介護ほたる熊川宿>

幅広い世代との交流を目指すため施設開放を行います。また、地域交流室の有効利用をすすめます。

- ・ 地域交流室は、サロン活動での利用が延べ72名ありました。さらに利用者が増加するよう、地域住民と地域のカラオケサロンの施設利用について検討しました。
- ・ 熊川公民館主催の地区文化祭やホテル観賞会に合わせた事業所開放により、300名程の住民が施設内を見学しました。また、地域の女性の会に施設を使用していただき、施設内を多くの方に見学していただく事に繋がりました。

事業所全体のスキルアップのために内部研修を実施します。

- ・ 全職員参加の研修会を6回実施しました。
- ・ 常勤職員3名が、研修の企画を交代で担当しました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：登録者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型	192	15	15	16	16	14	12	88
居宅介護		12	13	13	12	11	11	72

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	14	16	12	12	12	10	76	164
居宅介護	13	12	14	14	13	14	80	152

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 小規模多機能型居宅介護みさき >

個々のニーズに応じた柔軟なサービス提供を行います。

- ・ 日曜日の訪問を実施し、365 日体制での支援に力を入れました。
- ・ 緊急対応での泊まりや通いの延長、訪問など臨機応変に対応しました。
- ・ 泊まりについては、ご家族からの希望時には、柔軟に受け入れを行っています。
- ・ 機能訓練が必要な方には、訪問看護ステーションのリハ職の協力を得て自主リハビリのメニュー作りを行い機能維持に取り組みました。

身近な地域の福祉相談窓口としての役割を強化します。

- ・ 送迎時や訪問時、利用されていない気がかりな方への声かけを月に 1 回以上行いました。
- ・ 夏に 1 か月間、職員が神子の浜掃除に参加しました。その際に地域で浜そうじに参加されている方に介護認定についての相談を受け、対応しました。
- ・ 年 3 回干物作りを行い、地域の気がかりな方や普段干物作りを家でされている地域の方、利用者に参加していただきました。干物作りの後には、利用者との交流も兼ねて午後のレクリエーションにも参加していただき喜んでいただけました。また、普段食事をこぼしてしまう方や認知症の方も手際良く魚をさばくことが出来、素晴らしい可能性を実感しました。
- ・ 地域のボランティアの方が、行事に参加して下さった事をきっかけとして家族の介護に関する相談に数回訪れました。

利用実績（定員：18 名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：登録者数)

(上半期)	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
小規模多機能型	159	15	15	15	13	10	11	79
居宅介護		13	15	13	14	14	15	84

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
小規模多機能型	11	11	12	12	13	12	71	150
居宅介護	16	14	13	12	12	12	79	163

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 小規模多機能型居宅介護きやま虹の家 >

生活機能訓練を充実させます。

- ・ 看護師による機能訓練に加え、収穫した野菜等で毎日の調理や、畑作業、縫い物、脳トレや作業を通して、生活機能訓練を向上させました。

地域の方々や小学校との交流で、施設の利用促進を図ります。

- ・地域や小学校にチラシを配布することで、春休みや夏休みに施設を開放することを周知し、小学生を中心に地域の方々との交流会を開催することで、交流会以外の日も、地域の方々に気軽に施設を活用してもらいました。

利用実績...小学生延べ 59 名、地域の方延べ 45 名

(上記以外にも日常的に交流を図りました。)

利用実績 (定員 : 18 名 営業日 : 月曜日 ~ 日曜日)

(単位 : 登録者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型	178	10	10	10	10	11	13	64
居宅介護		15	14	15	15	14	15	88

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	13	13	13	14	14	15	82	146
居宅介護	13	13	11	11	12	12	72	160

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

介護予防拠点施設五湖の郷

地域交流の場としての機能強化

- ・ 7月5日より平日の5のつく日に五湖カフェの営業をスタートしました。今年度の営業回数は16回、延べ利用者数は460名でした。五湖の郷のサービス利用者と地域住民が楽しそうに交流するなど、地域交流の場として大変好評をいただいています。また、カフェ営業に合わせて踊りのサークルや地元の音楽バンドを招いてのコラボカフェで貸館を利用するなど新しい貸館の使用方法もみられました。
- ・ グランドゴルフ場の利用実績では10月は1団体が利用されました。
- ・ 今後も利用促進による地域交流の機能強化に努めます。

ボランティア活動の推進

- ・ 五湖カフェの運営に合わせ、よつ葉会（五湖カフェ運営ボランティア）を結成しました。営業開始時点での会員数は13名でしたが、現在19名となっております。
- ・ 定期的に活動いただいているボランティアは運転ボランティア、カフェ運営ボランティア、レクリエーションボランティアとなっており、延べ264名の方が五湖の郷で活動されました。

福祉学習の推進

- ・ 梅の里保育園の年長組と月1回の交流を行いました。通所サービスを中心に交流していますが、特養入居者等も参加し交流することができ、障がい者、高齢者と地域の保育園児が身近にふれあう機会を持つことができました。
- ・ 公民館との連携については、今年度は公民館主催の教室の開催がなく参加できませんでしたが、西田地区の敬老会や作品展には案内をいただき参加することができました。また、グループホームの運営推進会議には委員として参画いただいております。今後更に連携を深めていきたいと考えます。

特別養護老人ホーム五湖の郷

利用者本位の暮らしとケアの統一を目指す。

- ・ 24 時間シートシステムを導入し研修会と土台作りを実施し、入居者の望む生活リズムを施設でも継続できるよう取り組みました。

余暇活動等の充実を目指します。

- ・ 勤務シフトを変更しパート職員も日々の余暇活動を実施しながら、入居者の思いに合わせた突発的な活動にも適宜対応できるよう取り組みました。

利用実績（定員：29 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
特別養護	10,373	861	870	833	852	853	856	5,125
老人ホーム		846	837	810	831	845	818	4,987

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
特別養護	882	870	865	854	803	899	5,173	10,298
老人ホーム	828	805	873	888	812	882	5,088	10,075

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

高齢者ショートステイ五湖の郷

多職種、他部署との情報交換を密にし、在宅の延長線上の生活を目指します。

- ・ 担当者会議以外にも適宜連絡をとり情報共有に努めながらサービス提供に繋がっています。今後は担当者会議に施設ケアマネジャーだけでなく、現場職員も参加して意識の共有を目指しました。
- ・ 24時間シートの研修会と土台作りを実施し、在宅での暮らしが継続できるよう取り組みました。

余暇活動の充実を目指します。

- ・ 勤務シフトを変更し、パート職員も日々の余暇活動を実施しながら月に1回他部署交流を行うとともに、利用者の思いに合わせた突発的な活動にも適宜対応できるよう取り組みました。

利用実績（定員：10名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
高齢者ショート ステイ(予防)	10	0 11	2 11	0 9	2 0	0 3	2 3	6 37
高齢者ショート ステイ(介護)	3,093	258 227	256 215	253 195	259 238	283 227	225 215	1,534 1,317

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
高齢者ショート ステイ(予防)	5 6	0 0	0 6	0 8	6 0	12 0	23 20	29 57
高齢者ショート ステイ(介護)	260 215	243 199	247 225	232 245	231 239	252 243	1,465 1,366	2,999 2,683

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

認知症対応型グループホーム五湖の郷

施設活動を地域住民とともに行います。

- ・ グループホーム運営推進会議を、計画通り年間通して6回開催しました。
- ・ 運営推進委員として公民館職員や地域サロン代表者に参加してもらい、グループホームの活動や役割を知ってもらい、また地域の抱える課題についても知ることができました。

地域のニーズに応じるため、職員の専門性を高めます。

- ・ 月2回会議の中で、ケース検討から情報と目的を共有し、サービス内容を統一することができました。
- ・ 専門職（医療、リハビリ、各業者等）と連携を取り、必要な知識を取り入れ、職員のスキルアップに繋げることができました。

利用実績（定員：9名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
グループホーム	3,249	267	278	270	279	275	270	1,639
		270	277	270	279	275	269	1,640

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
グループホーム	279	261	278	275	252	278	1,623	3,262
	279	264	274	269	224	272	1,582	3,222

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

障がい者日中活動支援施設

障がいの程度やニーズに応じた支援の強化を目指します。

- ・ 知的障がい者の支援においては、個々の障がいの度合いに応じて職員体制や活動プラン、活動場所を確保して、利用者のニーズに対応できるよう取り組みました。
- ・ 身体障がい者の支援においては、理学療法士や作業療法士からリハビリのアドバイスを受けながらレクリエーション活動や個別活動にリハビリ要素を組み込んで支援を展開できました。

地域の方に対して障がい者理解の促進に努めます。

- ・ 実習生（大学生）を4名受け入れました。
- ・ レク活動ボランティアやサマーボランティアの受け入れを行いました。
- ・ 地域の方が障がい者と関われる機会がもてるように、買い物などの野外活動を月3回以上実施しました。

< 障がい者デイサービス事業（生活介護） >

個々のニーズに応じたサービスを提供し、支援強化を目指します。

- ・ 利用者の能力の維持向上を目指し、リハビリを行う前には必ずその日の目標を立ててリハビリ支援に努めました。目標を掲げることでリハビリを集中して取り組むことができました。
- ・ 生産活動を通じて新たな可能性ややりがいを感じてもらえるよう昨年度よりも工賃額を上げ、また作業内容も増やして対応しました。その結果、大半の利用者が作業に参加されるようになりました。

利用実績（定員：20名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
障がいデイ	3,600	265	241	249	265	277	273	1,570
		283	312	277	258	266	279	1,675

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
障がいデイ	278	288	278	259	261	280	1,644	3,214
	252	267	273	250	246	303	1,591	3,266

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 日中一時支援事業 >

十分な職員体制を整え利用希望通りに利用できるよう対応します。

- ・長期休暇スクールの開設時には、ボランティアの受け入れを試みました。また、職員の勤務時間帯についても長期休暇の時期には朝・夕の職員配置数を最小限に抑え、日中の受け入れ時間帯に職員数を集中させて対応しました。

利用実績（定員：1～4名、営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
日中一時支援	530	80	63	55	84	104	67	453
		47	42	40	48	39	42	258

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
日中一時支援	58	39	52	45	41	46	281	734
	36	42	47	48	55	56	284	542

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

障がい者ケアホーム五湖の郷

余暇を中心とした支援により生活の質の向上を目指します。

- ・ 全体の行事だけでなく、移動支援事業を提供して外出などの個別のニーズに対応しています。
- ・ 毎月1回会議を行い、その後に様々な内容の研修を実施することによって各職員のスキルアップにつなげています。

< ケアホーム事業 >

移動支援サービスを提供し個別のニーズに対応します。

- ・ 移動支援事業を1名の利用者と契約し、県外の外出も含めた余暇支援を提供しました。

事業所内で余暇支援を充実させます。

- ・ 週2回程度、家庭菜園や創作活動など小集団での余暇支援を提供しました。

利用実績（定員：7名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
ケアホーム	2,360	203	206	203	207	204	203	1,226
		176	195	192	194	189	176	1,122

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
ケアホーム	206	175	193	201	186	189	1,150	2,376
	178	197	207	198	162	212	1,154	2,276

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 障がいショート事業 >

利用される方が安心して快適に利用できる事業所づくり

- ・ 障がいデイサービスと連携して、個々の利用者に慣れた職員が宿直に入るなどして対応できるように配慮しました。
- ・ 利用者が過ごしやすい環境になるよう、居室内のレイアウトや設備をその都度考慮しました。
- ・ 初回利用された方に対し、相談支援事業所と連携して働きかけるなどし、定期利用につなげることができました。

利用実績（定員：2名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
障がいショート	334	60	28	26	31	32	34	211
		36	34	28	31	25	30	184

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
障がいショート	30	30	33	28	25	30	176	387
	25	43	43	48	34	31	224	408

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 移動支援事業 >

地域住民に移動支援事業について知ってもらいます。

- ・ サービス中に利用者と一緒に地域の方に挨拶をしたり、毎回利用する店舗に事業の説明をするなどして理解が深まるように努めました。
- ・ 新規利用者を増やし、サービスの回数や行き先も増加しました。

利用実績（営業日：月曜日～金曜日）

(単位：延利用時間)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
移動支援	258	-	-	-	-	-	-	-
		20	14.5	10	16.5	11	15	87

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
移動支援	-	8	9.5	5	9.5	13	45	45
	11	20	17.5	18	13	11	90.5	177.5

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

五湖の郷食事サービス

安心安全な食の提供を進めます。

- ・ 厨房内の温度管理、調理後および盛り付け後の温度管理を徹底し、その記録についても徹底出来ました。
- ・ 菌の持ち込みに特に注意し、こまめな手洗いを心掛けました。
- ・ 持ち帰りの弁当の取り扱いについて、保健所指導の元しっかりとした衛生管理が出来ました。
- ・ 納品業者には、毎月検便検査を実施してもらい、結果を報告してもらいました。
- ・ 従事者は毎月の検便を行い、さらにノロウイルス食中毒の発生しやすい時期（11月から2月）にはノロウイルス食中毒の検便検査を実施しました。

それぞれの利用者に合った食事内容を検討します。また、既存の施設および設備を活用した新しい食事提供内容を検討します。

- ・ デイサービスを対象に、12月より毎月第二土曜日に、バイキング形式の昼食を提供しています。
- ・ グループホームにおいて、汁物は食材で提供し、利用者と共に調理して頂いています。
- ・ 特養・高齢ショートにおいて、新しい食事提供方法を検討しています。

コミュニティカフェきらやま茶屋（障害者就労継続支援B型）

就労形態や業務内容・就労場所について柔軟に対応し検討することで、障がい者がより安定した働き方ができる事業所を目指します。

- ・ 余暇活動：毎月1回
参加者数：66名（延参加者数）
- ・ 利用者の希望及び障害の度合いに応じて作業を分担しています。また、個々の希望に応じた出勤形態や休憩時間を設定しています。

住民が主体となり、子どもから障がい者、高齢者までが分け隔たりなく集える施設を目指します。

- ・ 駅トレ開催：毎月1回
参加者数：22名（延参加者数）
- ・ 近隣地域の各世帯をはじめ、福祉施設や公共施設等に季節メニューのチラシを配布しています。

利用実績（定員：20名 営業日：月～水、金、土曜日 ただし年末年始は除く）

* 29年度登録計画 17名

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
就労継続支援	2,389	121	127	118	99	131	119	715
		129	188	177	164	174	177	1,009
カフェ・ 売店販売	11,953	1,110	1,388	1,128	1,027	1,193	840	6,686
		952	1,116	915	1,216	1,276	1,164	6,639
レンタサイクル	332	31	57	10	32	58	36	224
		36	50	24	21	68	60	259

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
就労継続支援	119	95	80	92	123	138	647	1,362
	253	235	215	217	208	215	1,343	2,352
カフェ・ 売店販売	1,011	902	732	765	924	1,126	5,460	12,146
	913	869	966	786	915	945	5,394	12,033
レンタサイクル	29	16	6	2	7	52	112	336
	15	18	8	6	2	35	84	343

上段は昨年度実績、下段は今年度実績